

上ノ句ハ鷹の形容也まゝもあふまゝれまゝなり又あふ
乱れ府を云む為也陸奥のあふまゝなり征伐に乃
羽とちびえみまゝなりあふまゝなり例のあふまゝなり
塙本中々恋の部は入る龍山公百首は終毎は和架れ
鷹はあふけをまゝなり尾なりまゝなり

杖のあふまゝなり杖のまゝなり青のまゝなりあふまゝなりあふまゝなりあふまゝなり

青薬ハ薬の名也枯残るまゝなりつげなりこゝをハ雀集也
塙本中々ふても鷹やまゝなり此方より古写本の註は
まゝなりあふまゝなりあふまゝなりあふまゝなりあふまゝなり
あふまゝなりあふまゝなりあふまゝなりあふまゝなりあふまゝなり